キャラクター名
兎傘　銚(とがさ　かざり)

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス オルクス	ワークス	探偵	カヴァー	記者
オプショナル		年齢	26	性別	女性
覚醒	探求	衝動	妄想	初期侵食率	28 %
出自	有名人	経験	平凡	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	1			1
感覚	1	0	0			1
精神	2	1	0			3
社会	5	0	1			6

HP	25
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ			交渉	11	
回避			知覚	1		意志	2		調達		
運転：	2		芸術：			知識：			情報： 噂話	5	
運転：			芸術：			知識：			情報：情報：面影島	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
「お手並み拝見」0%～	交渉	6r+11		10		疑似:5/C値:8/装甲値無視/恐怖の心臓により攻撃力+5 (コンセ:ソラリス LV2) + (絶対の恐怖 LV5)
「幻恐の一滴」0%～	交渉	6r+11		35		疑似:9/C値:0/装甲値無視/恐怖の心臓により攻撃力+5 (コンセ:ソラリス LV2) + (絶対の恐怖 LV5) + (神の御言葉LV5)
「お手並み拝見」100%～	交渉	9r+11		11		疑似:5/C値:7/装甲値無視/恐怖の心臓により攻撃力+5 (コンセ:ソラリス LV3) + (絶対の恐怖 LV6)
「幻恐の一滴」100%～	交渉	9r+11		41		疑似:9/C値:7/装甲値無視/恐怖の心臓により攻撃力+5 (コンセ:ソラリス LV3) + (絶対の恐怖 LV6) + (神の御言葉LV6)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ:噂好きの友人	
思い出の一品	
メモリー(七姫薫)：友情	
恐怖の心臓	
メモリー(面影小春):同情	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
生還者(リターナー)	P	N		
学生時の友人や知り合い	P 友情	N 疎外感		
恩人(研究者)	P 誠意	N 猜疑心		
美作 重陽	P 有為	N 敵愾心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12	残り財産P： 9

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト：ソラリス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：	C値を-LV(下限7)							
絶対の恐怖	5	3	メジャー	視界	-	対決	-	
効果：	攻撃力+LVの射撃攻撃。装甲値無視							
神の御言葉	5	4	メジャー	-	-	対決	リミット	
効果：	絶対の恐怖と組み合わせて攻撃力をLV×5。1シナ3回。							
オーバードーズ	2	4	メジャー	-	-	-	100%	
効果：	組み合わせたエフェクトを全て+Lv2。使用回数は増加無し。1シナLV回							
竹馬の友	★	-	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果：	対象に自分が信頼できる友と思い込ませる。エキストラのみ有効。							
猫の道	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	領域を使用して近道を作る。							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

第３話→第４話　成長
・エフェクト
　ポイズンフォッグ、アウトブレイクを削除してオーバードーズLv2を取得
・所持品
　恐怖の心臓を取得
　メモリー(面影小春)：同情を取得
・技能
　交渉を５→１１レベルまで上昇

【キャラクター簡易説明】
都内で探偵をやっている女性。好奇心のままに生きている。面白そう、興味深いことなら依頼じゃなくてもタダ働きでも喜んで調べる。
友人の七姫を探すべく、自身も記者を装って島に訪れる。

◆ハンドアウト:PC4
Dロイス：指定なし
カヴァー／ワークス：記者／指定なし
　友人のジャーナリスト、七姫薫(ななひめ かおる)が行方不明となり、キミは彼女が最後に向かった取材先、面影島に向かった。
　この島には、死人が蘇るという不思議な現象があると彼女は言っていた。…死、という言葉が、妙に不吉に思い出された。

【詳細説明】自分用に書いているので読んでも読まなくても大丈夫です
好きなもの：謎、未知、不可思議なもの